



福井県野球物語

甲子園をめざした高校球児たち



令和3年 7月23日(金・祝)～8月31日(火) 会期中無休

【会場】福井県立歴史博物館 2階 特別展示室

【観覧料】一般 400円 高校・大学生 300円 小中学生・70歳以上の方 200円

20名以上の団体は2割引。特別展のチケットで、館内の展示はすべてご覧になれます

身体障害者手帳、精神障害者福祉手帳、療育手帳をお持ちの方は、手帳を提示いただきますと、本人およびその介護者1名の特別観覧料は半額となります

後援 福井新聞社 NHK福井放送局 FBC 福井テレビ FM福井 福井ケーブルテレビ さかいケーブルテレビ
丹南ケーブルテレビ 嶺南ケーブルネットワーク えちぜん鉄道株式会社 福井鉄道株式会社

福井県立歴史博物館

福井市大宮2-19-15 TEL(0776)22-4675 <https://www.pref.fukui.jp/muse/Cul-Hist/>



福井県野球物語

～甲子園をめざした高校球児たち～

野球は、明治初期に日本に伝えられ、明治時代の終わりごろには全国に広まりました。福井県では明治時代中ごろに、福井師範学校で野球とみられるゲームがおこなわれたことが始まりとされます。その後、武生中等学校をはじめとする県内中等学校に野球部が創設され、各地で対抗試合がおこなわれるようになりました。

大正4年(1915)に初めて中等学校野球の全国大会が開催され、大正13年に甲子園球場が完成し、全国大会の会場になりました。県内各校も甲子園出場をめざし、大正14年に敦賀商業学校が本県初の甲子園出場を果たしました。その後、同校は連続出場し、全国にその名を広めました。地元では球児たちへの熱狂的な応援が広まり、福井でも野球ブームが盛り上がりました。

昭和戦時期に一時中断した全国大会も、昭和21年(1946)に再開されました。昭和23年からは全国高等学校野球選手権大会として現在まで開催され、これまで多くの県内の高等学校も出場し、活躍してきました。全国大会で活躍する球児たちの姿は、地元福井のアピールとともに、県民の一体感を醸成する機会ともなったといえます。本展では、高校野球を中心に、明治から平成にかけての本県の野球の歴史を紹介します。



敦賀商業学校野球部写真
昭和4年(敦賀市立博物館蔵)



辻佳紀氏(阪神タイガース)
ユニホーム(甲子園歴史館蔵)



第87回選抜大会優勝旗(複製)
(敦賀気比高等学校蔵)



○ふくい歴博講座(ライフアカデミー連携)

8月21日(土)14時～15時30分

題:「福井県野球物語」

講師:山形裕之(当館教育文化普及員)

※新型コロナウイルスの流行状況によっては、展示内容や開催時期が変更になることがあります。

※ご来館の際には、アルコールによる手指消毒など、新型コロナウイルス感染防止にご協力をお願いします。

[ご利用案内]

開館時間/9時から17時まで(入館は16時30分まで)

観覧料/一般400円、高校・大学生300円、小中学生・70歳以上の方200円

※20名以上の団体は2割引。特別展のチケットで、館内の展示はすべてご覧いただけます。

※身体障害者手帳、精神障害者福祉手帳、療育手帳をお持ちの方は、手帳を提示いただきますと、本人およびその介護者1名の特別観覧料は半額となります。

[交通案内]

JR福井駅より ●タクシー約10分

●京福バス:福井駅西口広場バスターミナルから

「大和田大学病院線」県立歴史博物館前下車

●コミュニティバス・すまいる:福井駅西口広場バスターミナルから

「文京・田原町方面」宮前町下車

●えちぜん鉄道:「三国芦原線」西別院駅下車 徒歩10分

●福井鉄道:田原町駅下車 徒歩15分

車:北陸自動車道 福井北インターから西へ約15分(駐車場あり)



福井県立歴史博物館

福井市大宮2-19-15 TEL 0776(22)4675
<https://www.pref.fukui.jp/muse/Cul-Hist/>



1 野球部の創設から全国大会へ — 明治から昭和戦前期 —

明治時代後期から大正時代にかけて、福井県内の中等学校(旧制中学)に野球部が創設されました。その中で、圧倒的な強さを誇ったのが敦賀商業学校です。大正14年の第11回全国大会に初出場して以来、昭和9年までに10回連続出場し、同校の名は全国に知られてきました。この敦賀商業学校を破って、昭和11年の第22回大会に初出場を成し遂げたのが福井商業学校です。ここでは、明治末期から昭和戦前期にかけての県内中等学校の野球部の歴史を紹介します。



2 甲子園の土を踏む — 昭和戦後から平成へ —

昭和22年の学制改革により、中等学校が新制の高等学校に替わり、中等学校野球は高校野球と呼ばれるようになりました。県内でも各高校野球部が新たなスタートを切り、昭和24年には武生高校が甲子園初出場を果たしました。以後、これまでに多くの高校が甲子園の土を踏んできました。昭和53年の選抜大会で準優勝した福井商業高校、平成27年(2015)の選抜大会で福井県に初めて優勝旗を持ち帰った敦賀気比高校などを始めとして、本県高校野球の歴史に大きな足跡を残しました。ここでは、戦後から現在までに甲子園大会に出場した県内各高校の活躍ぶり、それを応援した人びとの姿を紹介します。



3 プロ野球での活躍 — 福井ゆかりの選手たち —

昭和初期から現在に至るまで、県内の高校球児たちがプロ野球の道へ進み、野球人として活躍しました。昭和前期には、阪神タイガースの主将をつとめ後に監督に就任した松本謙治郎など敦賀商業学校出身者が、昭和20年代後半から40年代にかけては、武生・若狭・敦賀高校出身者が多くいます。平成に入ると、大野高校や福井商業高校、さらに敦賀気比高校などの出身者が大半を占め、いずれも甲子園大会に出場し、活躍した選手たちでした。ここでは、県内高校出身のプロ野球人が着用したユニホーム等、各選手にちなんだ資料を展示紹介します。